



学校だより
第37号

野 菊



福島市立吉井田小学校 令和3年3月5日発行

わたしたちの吉井田小です！ (児童会活動発表会)



児童会活動発表会を、1日(月)に実施しました。本来ならば4年生以上参加、体育館で行うはずでしたが、今年度は特別活動室からのリモートで実施しました。会では、10の委員会から、①1年間の振り返り、②来年度に生かしてほしいこと、について報告がありました。

感じたことは2つ。1つは委員長さんを中心とする6年生が、この制限のある中でも一生懸命工夫して活動したこと。2つめは、各学級で聞いていた下級生も、しっかり発表を聞き、来年は自分たちが中心となつてがんばろうとする意欲をもてたことです。

何のために児童会があるか。それは、吉井田小をよくするための「気づき、考え、協力して実行する」活動をとおして、自主性や創造力

や社会性を育むためにあります。今年度は数々の制限のあった1年でしたが、成長を子どもたちの姿から感じることができほっとしました。

最後に、今年1年、委員会の中心となつてがんばってくれた委員長さんを紹介します。

- ・代表委員会委員長 さん
- ・広報委員会委員長 さん
- ・放送委員会委員長 さん
- ・運動委員会委員長 さん
- ・給食委員会委員長 さん
- ・保健委員会委員長 さん
- ・飼育・栽培委員会委員長 さん
- ・図書委員会委員長 さん
- ・環境委員会委員長 さん
- ・JRC委員会委員長 さん

1年間、お疲れさまでした。

2020の学び

～今週は授業参観週間～



「がんばるぞ！ 今日、お母さんが来るんだ！」今日の朝声をかけた元気な1年生男子の第一声です。おうちの方に授業の様子を見てもらうことが、子どもたちにとって大きな喜びなのだと感じた一瞬でした。今年度、初めて最後の授業参観となってしまいました。学級での学びの様子はいかがだったでしょうか。

また、今年度は、新型コロナ感染予防対策として、1年から5年は分散開催、卒業生は学級毎の別日開催（体育館利用のため）としましたことに対しても、ご理解とご協力をいただいたこと感謝いたします。

授業参観を通して感じたことは、おうちの方に学校に来ていただき、子どもの学びの様子を見ていただくことの大切さです。子どもはおうちの方が来る、見てもらえる、それだけで、教師ががんばれと励ます何倍もがんばるのです。次年度も、新型コロナに対する数々の対応が必要になると思いますけど、安全・安心を最優先にしながら、よりよい学習活動を進めていきたいと思えます。

給食標語コンクール

給食委員会でおこなった給食標語コンクールの入賞作品が給食室の前に掲示されています。今回のコンクールは、標語の最初の音が必ず「え・い・よ・う・の・ば・ら・ん・す」で始まること。ちょっと難易度のある吉井田の子どもたちにぴったりの課題でした。

【最優秀賞】

・栄養を きちんととろう 朝・昼・夜
6年

【優秀賞】

・「いただきます」 大きいこえて
かんしゃして
1年

・スクスクと 食べてそだつよ 小学生
2年

・いっぱい食べて えいようバランス
ととのえよう
3年

・吉井田の 給食の味 わすれない
心にのこった 思い出の味
4年

・ん～うまい しっかり食べて 元気だす
5年



今日も美味しく給食を頂きました。「吉井田小の給食は日本一！」ちなみに3日のメニューはひなまつり献立でした。

トピックス

去る3月 弥生です！

3月は「弥生」とも呼ばれます。ウィキペディアによると日本では、旧暦3月を弥生（やよい）と呼び、現在でも新暦3月の別名としても用いるとのこと。弥生の由来は、草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月（きくさいやおひづき）」が詰まって「やよひ」となったという説が有力だそうです。他に、花月（かげつ）、花見月（はなみづき）、夢見月（ゆめみづき）、桜月（さくらづき）ということもあるそうです。

三寒四温。春の足音を示す四字熟語。学校の中庭の花壇では、先生が手塩にかけて育てたパンジーが出番をじっとまっています。校庭の春の主役であるサクラのつぼみもふくらみたくてうずうずしているように見えます。自然の営みは確実に春のレールの上にあることを感じます。

